

農業共済新聞（2017年4月12日付10面掲載）

【白山瀬波 活気ある地域づくり みんなの力で】

活気ある地域づくり みんなの力で

白山市瀬波地区 地場農産物の直売やイベント



【石川支局】白山市瀬波では住民有志が会社組織を立ち上げて、地域活性化に取り組

んでいる。

株式会社白山瀬波（西原秀幸代表取締役）は、2015

イベントで山菜の販売を実施。住民たちは野菜や山菜の直売活動を通して「気持ちに張りが出てきた」と話す。右奥は公共施設「白山里」

年に有志11人が資本金の一部を出資して設立した。瀬波地区でキャンプ場の運営をはじめ、住民14人が栽培する野菜の販売、周囲の自然環境を生かしたイベント開催、登山道の整備、さらに、猟友会と連携してイノシシ駆除なども行う。

瀬波地区は白山麓に位置し、29世帯50人が暮らし、75歳以上が7割を占める。近年、有害鳥獣対策や農地の保全に携わる人手の確保が難しくなっていることから、同社は担い手確保と地域活性化を目指して活動する。

同社事業本部長の廣崎邦夫さん(63)は「里山の保全は採算が合わないことも多いが、結果として市街地の生活を守ることになる。一集落の活動で終わるのでなく、山間集落のビジネスモデルを確立してきた」と意欲的だ。

同地区は寒暖の差が大きいく、昔から農作物がおいしくとわられてきた土地柄で、同社では、地区にある既存の公共施設で地場産野菜や山菜を年間通じて直売する。特にトウモロコシの評価は高く、購入客から、レポートの注文が入るといふ。

同社は今後、これらの活動を事業化し、雇用の創出を目指すという。

▽株式会社白山瀬波 076・

2555・522000 / <http://www.hakusansena-mi.jp/>

(安田)